

今月のみことば 2016年5月

「あなたは私に、いのちの道を知らせてくださいます。あなたの御前には喜びが満ち、あなたの右には、楽しみがとこしえにあります。」

(詩篇16篇11節)

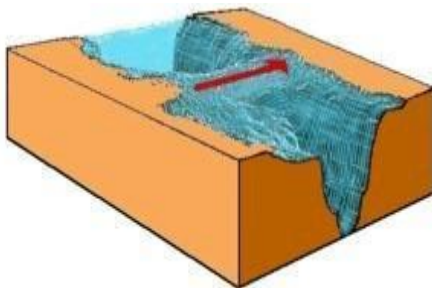
アカバ湾の不思議な海底

紀元前 1450 年頃、モーセに率いられたイスラエルの民は長い奴隷生活に終止符を打ち、エジプトを脱出したものの、たちまち危機に見舞われる。イスラエルを去らせたことを後悔したエジプトの王、パロが最精鋭の軍隊を出動させ追いかけてきたのである。

よく知られているように、モーセの祈りに応えて、神は紅海を二つに分け、民はまるで陸地を歩くように対岸まで歩くことができた。これは、エジプトの沼地でもなく、また浅瀬でもなく、水深 1,500 メートルのアカバ湾であることを、スウェーデンのカロリンスカ研究所のレナート・モーラー博士率いる国際チームが明らかにした。海底からはエジプト第 18 王朝の戦車の車輪を閉じ込めた形の珊瑚が無数に発見されており、反論はほぼ不可能である。



イスラエルの民が渡った部分は、橋梁のようになっていて水深は 100 メートルほどだという。神は吊橋のようにゆるやかに対岸とむすぶ海底の「橋」の上の水をどけられ、壁のようにそそり立たせたのである。しかし、エジプト軍が同じように渡ろうとしたところ、一挙に海の水が元に戻り、すべてが呑み込まれてしまった。一瞬にして世界最強の軍隊が全滅した、と聖書は記す。



さて、ここで考えてみたいのは、海底がいつそのような形状になったか、である。もちろん、それは出エジプトが起きるはるか以前のことであり、神が地と海を造られた時にさかのぼることは言うまでもない。

であるからこそ、神は、「イスラエル人に、引き返すように言え。そしてミグドルと海の間にあるピ・ハヒロテに面したバアル・ツェフォンの手前で宿営せよ。あなたがたは、それに向かって海辺に宿営しなければならない」(出エジプト 14:2) とモーセに言われたのである。その地点こそ、対岸のアラビア半島に渡るために神があらかじめ用意された海底の道の出発点であったからである。

海底を探索したところ、それは足が沈むことのないように、引き締まった砂で固められた広々としたなだらかな道で、海水がなければ、だれでも容易に歩ける道である、とモーラー博士は言う。

新学期が始まった。私たちにも困難の海が目の前に立ちはだかるかもしれないが、慌てずに神の導きを待とう。私たちの目には見えなくても、神が用意された安全で確かな道が隠れているはずである。